

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓の農産加工物の販路を首都圏の団地に広げる事業
事業主体 (連絡先)	安曇野あぐりネット (佐藤正樹・北アルプス自由市場代表)
事業区分	(6)産業の振興・雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	478,332円 (うち支援金: 330,000円)

事業内容

平成21年より八王子市と狭山市の団地を拠点(計4ヶ所)に「出張産直市場」を自治体と連携して開催してきた。他に類のないこの取組みが評判を呼び、平成28年は町田市と相模原市にも拠点を広げることとなったが、その需要に応える備品(冷凍庫、テント・テーブル、コンテナ等)が必要となり、それぞれを購入した。



【購入備品】

【目標・ねらい】

- ① 「出張産直市場」の効率化
- ② 出品協力者(生産者)の拡大
- ③ 出店拠点(現地協力者)の拡大
- ④ 地域間ネットワークの強化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

生産者と消費者がFace to faceで交流する「出張産直市場」は高く評価されているが、遠路を運ぶため効率は悪く、採算の確保に苦心してきた。拠点の拡大は効率を高める上で効果的であるが、その基盤となる備品の確保が課題となっていた。申請備品の調達により、町田市や相模原市での拠点を確保し、さらに広げることが可能となった。

※自己評価【A】

【理由】

当初の計画が予定通り実行でき、出品協力者や出店拠点の拡大が円滑に進みつつある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

購入備品を活用して「出張産直市場」の効率化を図りながら、出品協力者(生産者)及び出店拠点(協力地域)を増やしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある